



Micro Focus Server Express 4.0 J

IBM OpenPower 動作検証

検証結果報告書

平成 17 年 8 月 19 日

マイクロフォーカス株式会社

1. 検証概要、目的及びテスト方法

1.1 検証概要

既に IBM eServer pSeries で動作保証されている Micro Focus Server Express 4.0 for pSeries Red Hat を、IBM OpenPower 上で動作検証しました。

1.2 目的及びテスト方法

Micro Focus Server Express 4.0 for pSeries Red Hat は、現在 IBM eServer pSeries 上の Red Hat Enterprise Linux 3.0 で動作保証されています。IBM OpenPower は、eServer pSeries と同一のアーキテクチャを持っており、オペレーティングシステムも同一のものが稼動していますので、Server Express 4.0 もそのまま動作するはずですが、今回、COBOL 言語の機能を網羅的に実行するテストスイートを実行することによって、このことを実際に検証しました。

テストスイートは、ANS85 COBOL 構文を網羅的にテストするものを使用しました。これによって、COBOL コンパイラが使用するすべての システムコールを網羅できるので、万一 OpenPower 独自のアーキテクチャの非互換があった場合に検出できるものです。

2. 使用ハードウェア及びソフトウェア一覧

IBM eServer OpenPower 720

Red Hat Enterprise Linux AS 3.0 Update 4

gcc version 3.2.3

glibc-devel-2.3.2-95.30.ppc64

Micro Focus Server Express 4.0 J ServicePack 2

3. テスト内容

AISI85 規格 COBOL の言語機能の網羅テスト

以下の試験項目を、.int コードと実行形式の両方で、32Bit、64Bit の両方について実行し検証しました：

中核 94 本、順編成ファイル 85 本、相対編成ファイル 35 本、索引編成ファイル 42 本、ソートマージ 40 本、プログラム間通信 47 本、組み込み関数 42 本

4. 結果

上記のテスト内容のすべてを実行し、問題は検出されませんでした。

5. テスト結果及び考察

IBM OpenPower という最新の Linux サーバー環境で、既存の Micro Focus Server Express 4.0 J 製品を問題なく使用できることが検証できました。これをもって、弊社の正式な動作保証といたします。

以上